

## 令和2年度 第一学期 保護者会 7/27・28

本日は、お集まりいただきありがとうございます。保護者の皆様には、休校中から、公私ともに混迷を極める中、学校へのご理解と様々なご支援を賜り、感謝申し上げます。おかげさまで、一学期も大過なく終わろうとしています。先週の授業参観でご覧いただいた通り、子供たちは穏やかに、楽しい学校生活を送っているところです。

さて、お手元の資料をご覧ください。学校の年間行事予定表と、各学年の年間指導計画とともに、それらについて説明している校長名の保護者会資料があるかと思えます。

本来であれば、時間をかけて詳しく説明させていただくところですが、感染症予防の観点から、本日も在校時間をなるべく短くする必要がありますので、説明は、資料に代えさせていただきます。不明な点は、個別にご質問願います。

本日は、資料に記載がない3点について、お話をさせていただきます。

1点目は、学期末にお配りする通知表「あゆみ」です。1学期のあゆみには、1学期は期間が短いことから、学習評価を記載しません。生活の様子や所見のみとなりますので、ご承知おきください。お子さんの学習面等で、ご不安なことがありましたら、担任に個別にお尋ねください。

2点目は、本日、お子さんに災害時等の「危機管理マニュアル」をお渡ししました。特に、震度5弱以上の地震が発生した場合や、東海地震等の警戒宣言等が発令された場合は、これまでと同様ですが、お子さんだけで下校はせず、全員引き取りとなりますので、ご協力願います。

最後の3点目は、感染症予防についてです。これまでも学校では、「安全をすべてに優先する」と謳っているとおり、たとえ子供たちにとって極めて重要な教育活動を犠牲にしても、安全を最優先しています。命は一人にひとつしかないからです。危険を顧みず、命がけで、教育活動を行うことは、今までも、これからもありません。

今回の新型コロナウイルスへの対応も全く同じです。「正しく恐れる」ということを第一に考えます。

世間では、経済を優先するのか、感染症予防を優先するのか、というような議論がなされていますが、学校では、命が最優先です。議論の余地はありません。

このことを前提に、教育活動を行っていますが、「正しく恐れる」ことの、程度（レベル）は、本当のところは分からないというのが正直なところです。給食も食べていますし、授業での話合いやグループ活動もあります。

しかし、それぞれが、今まで通りではなく、感染予防をしながら、どのように活動することがベストなのか、国のガイドラインに沿って、これからも教育活動を計画して参りますので、ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。